

わが

歴史と文化を誇るまちで魅力の再発見を

はじめに

名取市は宮城県のほぼ中央に位置し、名取川と阿武隈川の両水系に囲まれた豊かな平地と、温暖な気候に恵まれた、人々の暮らしやすい場所として古代から栄えてきました。

西にはなだらかな丘陵地、東に



名取熊野三社の一つ「熊野神社 (旧・新宮社)」

は海岸と、自然環境にも恵まれています。

また、東北最大級の古墳「雷神山古墳」(4世紀末〜5世紀初頭)などの埋蔵文化財や、紀州熊野三山の位置関係と地形を模して勧請された「名取熊野三社」など、重要な文化財が点在しています。

名取は歴史的に見ても、西の丘陵地帯には東街道が通り、東の海岸部には伊達政宗により開削された日本最長の運河「貞山運河」が流れるなど、人と物が行き交う場所でありました。

そして現代も、東北の空の玄関口・仙台空港を抱え、平成19年には名取駅から分岐する「仙台空港アクセス線」が開通。道路網においても国道4号、東北縦貫道・仙台東部道路などの主要道路が走るなど、交通の利を生かした人口と産業の集積が進んでいます。

新たなまちづくり

「仙台空港アクセス線」は、東北本線名取駅から分岐する、仙台駅と仙台空港を最短17分で結ぶ鉄道です。

この鉄道の開通に伴い、本市内には「仙台空港駅」「杜せきのした駅」「美田園駅」の3つの駅が設けられ、これらの駅を中心とした区画整理事業が行われました。(団地規模は、杜せきのした地区が69・46ha、計画戸数830戸、計画人口2400人。美田園地区が114・54ha、計画戸数1310戸、計画人口4100人)

また、杜せきのした地区には東北最大規模の大型ショッピングセンターが進出し県内外からの買い物客でにぎわうなど、鉄道の開通により本市は大きく様変わりするとともに、多方面から注目を浴び

る都市となりました。

この臨空地域における宅地開発のほか、市内では丘陵地帯の愛鳥地区・相互台地区でも宅地開発が行われ、本市は県内でも人口増加率の高い市町村の一つとなっています。

名取の魅力を発掘

本市はこのような社会的にも歴史的にも潜在価値が高い都市であると自負しておりますが、その魅力を十分に伝えきれない状況でした。残念ながら、PR不足であったことは否めません。

特に地元にいるからこそ見失いがちな名取の魅力を、市民の皆さんに再認識してもらい、郷土への誇りを持っていただくこと。その上で、名取への郷土愛を市民の皆さんから全国に発信していただきたい、というのが長年の思いでありました。

市長就任以来、本市の魅力を再発見する事業に取り組んできまし

たが、その第一歩となったのが、平成19年度に発行した「なとり百選」の冊子です。

これは名取の名所、名物、物事、人など、新旧を問わず「名取市民の宝物」と呼べるものを広く公募し、100件選出。その概要を写真入りの冊子としてまとめたものです。(ホームページでもご覧いただけます)

本市では初めての試みではありませんでしたが、発行した部数がすぐに在庫切れとなるほどの人気を博し、発行後には「なとり百選」に掲載された場所を巡る民間団体のツアーも企画されるなどの盛り上がりを見せました。



好評を博した「なとり百選」

また、同じ平成19年度には、国土交通省港湾局が募集した「運河の魅力再発見プロジェクト事業」に応募し、宮城県を縦断する「貞山運河」をテーマとした事業が認定されました。

この認定を受け、宮城県をはじめ貞山運河沿岸市町、NPO・民間団体のご協力の下、本市が事務局となり「貞山運河の魅力再発見協議会」を組織し、貞山運河を核とした魅力ある地域づくりへの取り組みを開始したところだ。

今後も連携を深め、宮城が誇る歴史遺産である貞山運河を活用した事業を、本市のみならず、沿岸地域全体で盛り上げていければと考えています。

紀州熊野三山の分霊「名取熊野三社」は、平安時代の終わりに既に熊野信仰が伝わり、勧請されていたと伝えられています。このことが縁となり、前年10月、本市は和歌山県新宮市と姉妹都市の盟約を交わしました。本市にとっては山形県上市市に続く、国内2番目の姉妹都市です。新宮市には、紀州熊野三山のうち「熊野速玉大社」が所在しています。今後もこの歴史的に縁の深い新

宮市と友好関係を築きながら、名取の貴重な文化遺産を市民が引き継ぐことができるよう願っています。

おわりに

本市では平成23年度からの実施を目指し、「第五次長期総合計画」を策定中です。

市制施行51周年の新たなスタートを切った今、次の半世紀も末永く発展し続けることができるような計画を、市民の皆さんと共に練

り上げているところです。

本市に元気をもたらすための基礎となるのは、市民の皆さんの力と熱い思いです。そのためにも引き続き郷土の魅力を発掘し、市民の心に情熱の火をともしような情報発信、人づくり、まちづくり事業に力を注ぎます。

本市は「空の道」「陸の道」共に便利な場所となっています。ぜひ、皆さまも名取の魅力、「あなたの名取」を発見しにお立ち寄りください。

プロフィール

- ◆ 面積 100・06 km²
- ◆ 人口 7万1460人
- ◆ 世帯数 2万5507世帯

〔将来都市像〕元氣な都市・名取
〔まちの特徴〕「東北の玄関口」仙台空港が所在。国道4号、東北縦貫自動車道など主要道路も走り、人口集積と企業立地が進んでいる。

〔特産品〕赤貝、カーネーション、セリ、メロン、ミョウガタケ、タケノコ



名取市長 佐々木一十郎



ヒラメ、カレイ、笹かまぼこ、耕谷もち、みやぎ米
〔観光〕雷神山古墳、名取熊野三社、貞山運河、藤原実方の墓、洞口家住宅、ゆりあげビーチ
〔イベント〕名取夏まつり大会、ふるさと名取秋まつり、なとり春まつり、藤原実方朝臣墓前献詠会、サイクルフェスティバル、エンジンヨイ！ビーチバレー大会

※面積は国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」に、人口・世帯数は「住民基本台帳」による。

わが

人と自然が調和した生活文化都市

はじめに

「東大和市」という名称は、大正8年11月の村制実施の際、政争の激しかった6カ村が、大いに和して一つの村にまとめられたことから、大和村と称しました。その後、昭和29年の町制を経て、昭和45年には、東京の大和ということから、「東大和」と改めて現在に至っています。



新東京百景にも選ばれた「多摩湖」

本市は、東京都心から35km圏に位置する人口約8万3000人の自然を豊富に有する住宅都市です。市の北部には緑豊かな狭山丘陵が広がり、都民の水がめである青々とした多摩湖(村山貯水池)が私たち市民の心を潤わせてくれます。

丘陵越しには、プロ野球球団の本拠地、ドーム球場の屋根がぼっかりと頭をのぞかせています。また、夏には遊園地の名物の花火が、毎週末の夜空を華やかに飾るのを眺める絶好のポイントもあります。この村山貯水池の下堤防は、本年4月に堤体強化工事に伴う周辺の整備も完了し、以前にも増して素晴らしい景観に生まれ変わりました。近くにお越しの際には、ぜひお立ち寄りいただき、緑と水のコラボレーションを体感してみてください。

特徴的な取り組み

●平和
本市では、平成2年に平和都市宣言をし、平和を愛する人々と手を携え、戦争と核兵器のない世界の建設に寄与することを改めて誓いました。

都立東大和南公園には、戦災建造物である旧日立航空機(株)変電所があります。そこでは昭和20年にグラマンやB29による機銃掃射や爆撃で、110名が犠牲になり、その時の傷跡が生々しく残されています。

市では、この変電所前の広場を、平和の大切さを後世に伝えるための場所として「平和広場」と称して、平和に対する意識啓発の拠点として活用しています。毎年8月の平和月間では、この平和広場において、市民団体によるコンサートや



戦争の傷跡が残る「旧日立航空機(株)変電所」

●区画整理
本市の面積は13・54km²であり、その4分の1を先ほどご紹介した狭山丘陵が占めています。残りの4分の3の市域では、これまで、

3段階に分けて重点的に区画整理事業に取り組み、約1・3km²の整備が完了しています。丘陵地を除く市域の12・6%に上る区画整理事業が施行済みとなっています。

決して、楽観視できない財政状況の中ではありましたが、計画的に取り組んできた結果、誰もが安心して安心して住み続けられるまちづくりができたこと、胸を張って、次世代に継承していけるものと自負しています。

●防災防犯

本市では、平成19年度より、消防団の活性化および男女共同参画の視点から、女性団員を採用しています。現在、7名の女性団員が「なでしこ隊」と称して、主に応



平成19年度から活躍している「なでしこ隊」

急手当などの普及、火災予防・防火思想の啓発などで活躍中です。通常火災などでの出動はしませんが、消防団の各活動の際、本部の補佐的な役割として、大きな期待を背負っています。

また、防犯の取り組みとしては、児童を標的とした凶悪犯罪が全国で発生したことを受け、平成17年度から防犯パトロールを実施し、一定の成果を挙げてきました。平成19年度からは、青色回転灯パトロールカーを導入し、視覚的にも強い印象を与えて、抑止力を発揮することで、児童生徒の下校時の安全確保により一層貢献しているところでもあります。

私の目指すまちづくり

本市では、第二次基本構想で、人間性の尊重を基調とした、目指すべき将来の都市像を「人と自然が調和した生活文化都市」と定めています。その都市像を実現するため、5つの基本目標を掲げています。

- ・豊かな人間性と文化をはぐくむまち
- ・健康であたたかい心のかよいあうまち
- ・暮らしと産業が調和した活力あ

るまち
環境にやさしく安全で快適なまち
相互の理解と協力を支えられるまち

現在、この都市像を目指し、第三次基本計画を推進しているところであります。今後におきましても、依然として厳しい財政状況下ではありますが、これまで整備してきた社会資本の適切な維持管理と運用により、

プロフィール

- ◆面積 13・54km²
- ◆人口 8万2428人
- ◆世帯数 3万4777世帯

〔将来都市像〕人と自然が調和した生活文化都市 東大和

〔まちの特徴〕北部に緑豊かな狭山丘陵があり、そこに新東京百景にも選ばれた美しい景観の多摩湖があります。また南部には野火止水水があり、ホタルの里づくりに活用するなど自然環境に恵まれたまちです。

8万3000人の市民の生活と権利を守り、住環境の整備、充実に努めてまいります。

私は、市長就任以来、市民生活の基本である福祉・防災・教育の充実を一貫して進めてまいりました。今後におきましても、この3本柱を軸に、緑豊かな狭山丘陵を核とする良好な環境を守り育て、市民の誰もが安心して安全に暮らせる快適なまちづくりを、引き続き目指します。



東大和市長 尾又正則



〔特産品〕狭山茶、多摩湖梨
〔観光〕多摩湖
〔イベント〕農・商まつり、市民文化祭、福祉祭、ふれあい市民運動会、多摩湖駅伝大会

※面積は国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」に、人口・世帯数は「住民基本台帳」による。

わが

海と共に輝く平和な都市を目指して

はじめに

焼津市は、東京から西へ193km、名古屋から東へ173km、京浜・中京のほぼ中間の位置にあります。「焼津」の地名は、古事記や日本書紀に登場します。「日本武尊(やまとたけるのみこと)が東夷討伐(とういとうばつ)の途中、天叢雲劍(あめのむらくものつるぎ)で草をなぎ、それに火をかけ賊を滅ぼした所を焼津(やきつ)という」という話が出ています。また、万葉集



次々と水揚げされるマグロ

第三巻の歌から奈良時代には、現在の行政区より広い範囲を指して「焼津」と呼ばれていたようです。江戸時代に入ると新田開発も進み、農業が盛んになる一方、河口港を利用した回船業が発達しました。明治時代に石油発動機付きの漁船の登場で、その操業域を伸ばし、遠洋漁業の発達とともに水産加工業も躍進しました。東洋一の漁港とたたえられた焼津港を持つ全国屈指の水産都市が私たちの焼津市です。

平成20年11月に大井川町と合併し、将来都市像を「人が輝き 活気にあふれ 海・山・川の恵みと歩むまち 焼津」としました。この将来都市像の実現に向けて施策を展開してまいります。

焼津ブランドの確立

焼津市は、自然や歴史、文化に

恵まれ、焼津漁港や大井川港などかけがえのない地域資源に恵まれ、東西の大都市に近く交通アクセスも良いという地理的特性を併せ持っております。

焼津市は、国内1、2を争うマグロ・カツオの水揚げを誇り、水産加工品であるかつお節やなまり節、桜エビなどが名産です。これらに加え、日本一深い駿河湾から取水する、海洋深層水を利用した新商品を研究・開発し、産官学が共同して焼津ブランドを確立していきます。

これは、「自社製造」焼津らしき」などを基準に一般消費者、小売店、専門家などで構成された審査会が審査し、優れていると評価された商品を認定するものです。今までに、かつお節や黒はんぺん、つくだ煮などが評価されています。

海の恵みをはじめとした地域資



雄大な富士を望む焼津港

源を生かすことで地域経済を活性化していくことを進めています。

海・陸・空の物流手段

前年11月に、大井川町と合併し、焼津市は、焼津・小川・大井川の3港を有することとなりました。このうち大井川港は、焼津港、小川港の漁港とは一味違う物流の港で、地方港湾としては、全国有数の取扱貨物量を誇り、石油供給拠点をはじめ、地域の物流などの要請に対応した地域経済を担う港です。また、国道150号バイパス、

東名高速道路の陸路に加え、本年6月に富士山静岡空港が開港しました。また東名高速道路の新インターチェンジ設置を進めています。陸・海・空の物流手段を近隣に備えた、この静岡県中部地区は、もともとと発展すると確信しております。こうした流通経路の優位は、観光、企業誘致の絶好の機会であります。市長自らが率先してPRに努めていき、地域経済の活性化を図るとともに新たな可能性も生み出していきたいと考えています。

平和へさらなる希求 焼津市から平和を発信

昭和29年3月1日、太平洋上マーシャル諸島海域ビキニ環礁において、焼津港所属の第五福竜丸がアメリカの水爆実験に遭遇し被災しました。世にいう「第五福竜丸事件」です。

事件から55年経た本年夏、長崎市で開催された「第7回平和市長会議総会」に初めて出席し、世界中の国や地域、また日本国内の加盟都市の皆さんと親交を深め、平和への熱い思いを語り合いました。そしてどの都市も核兵器のない平和な世界を目指しています。



年末も大にぎわいの「焼津さかなセンター」

本年、アメリカ大統領に就任したオバマ氏は、プラハでの演説で核廃絶に取り組みと発言しており、世界は動き始めました。

焼津市では「核兵器廃絶を願う焼津宣言」「平和都市宣言」そして「第五福竜丸事件6・30市民集会」の開催を行い、本年「焼津平和賞」を創設します。広島、長崎と共に被ばく市民を持つ焼津市として、平和へのメッセージを皆さんに届けたと思います。55年前、一つの出来事が市民の安寧を奪ってしまいました。焼津市は、この惨事が二度と繰り返されないよう、近隣市はもちろん世界の都市と連携して、国際社会に核兵器の廃絶を訴えていきたいと考えております。

おわりに

平成の大合併を経て、中央集権から地方分権へ進んでいきます。地方が自らの責任で施策を行い、経済事情や時代に対応していかなければなりません。厳しい財政運営の中で効率的な市政を行わなければなりません。

市民が安全・安心に暮らせることがまちづくりの基本です。静岡

プロフィール

- ◆ 面積 70・55km²
- ◆ 人口 14万3433人
- ◆ 世帯数 5万1315世帯

〔将来都市像〕人が輝き 活気にあふれ 海・山・川の恵みと歩むまち 焼津

〔まちの特徴〕遠洋漁業の基地として名高く、駿河湾海洋深層水の拠点ともなる焼津漁港を持つ水産都市

〔市町村合併〕平成20年11月1日、大井川町を編入合併。



焼津市長 清水 泰



〔特産品〕カツオ、マグロ、かつお節、黒はんぺん、トマト、魚河岸ジャツ

〔観光〕焼津漁港、焼津さかなセンター、デイスカバリーパーク焼津、焼津黒潮温泉、大井川河口野鳥園

〔イベント〕みなとまつり、焼津みなとマラソン、焼津神社大祭(荒祭)、海上花火大会、踊夏祭、オータムフェストゴやいづ、ミュージコピアンマラソン、虚空蔵尊だるま市

※面積は国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」に、人口・世帯数は「住民基本台帳」による。

「岐阜県の表玄関」は さらに自立した元気なまちへ

羽島市の発展

木曾川・長良川の雄大な流れ、緑広がる田園風景。羽島市は、豊かな自然に恵まれた佳境の地にあります。四季折々に彩られる川面は、訪れる人を優しく迎えてくれます。また一方では、東海道新幹線岐阜羽島駅と名神高速道路岐阜羽島インターチェンジの2つの広域高速交通拠点を有する「岐阜県の表玄関」として輝き続けてきました。中部圏での経済・文化両面に果たす役割も大きく、注目される都市の一つとしてこれからも大いに発展が期待されています。

本市を含む地域は、古くから木曾三川のはんらんによる洪水に悩まされ続けてきました。そのため、宝暦年間(1751年〜1764年)に江戸幕府の命令で、薩摩義士

による三川分流工事が行われました。この工事以後、この地は豊かな穀倉地帯に生まれ変わり、明治以降も米作や野菜、果樹、花卉栽培など農業が盛んな地域となっています。また、かつては繊維の大産地として知られ、全国のアパレル産業を支えてきました。しかしながら、近年は交通拠点としての優れた立地条件から、物流関連企業の進出が著しく、市の産業構造も第3次産業の占める割合が伸びてきたところです。

行財政改革と子育て支援

私が本市長に就任しましたのは、平成16年12月。現在2期目を迎えております。市長に就任以来、未来に責任が持てる行財政運営と、効率的で着実な事業推進を掲げて市政を担当してまいりました。

これまでに市政を運営する中で、まず行ってきたことは、行政改革の断行です。出張所機能の廃止とコミュニティセンター化、公の施設への指定管理者制度の積極的な導入と保育園など市直営施設の民営化。各種使用料手数料の見直しと補助金の見直し、職員駐車場の有料化などの改革を実施し、それらにより生み出された財源を、子育て支援に重点的に配分してきた

ところです。乳幼児等医療費の助成対象を、前年度には入院・外来共に中学校卒業まで拡大しました。また、妊婦検診の助成拡大や、病氣回復期および当面病状に急変が認められない病児・病後児の一時預かり事業も開始。加えて、中学校施設の耐震工事を優先的に実施し、本年度中にすべて完了する予定であるなど、子どもを生み育



市を挟むように流れる木曾川・長良川

財政面では、効率的な予算配分を行うことにより、市債残高を、平成15年度をピークとして毎年減少させてきました。また、市長就任時に380名いた一般行政職員を4年間で54名減員しました。さらに、今後4年で300名程度にまで減らしていく考えです。

本市は、大企業などからの法人市民税収入のウエイトが低く、昨今の経済不況の影響を大きく受けているわけではありませんが、社

会構造の変化にいち早く対応し、厳しい目で見たい行財政運営が必要であると考えています。

名古屋経済圏の一翼を担う

今、本市は、名古屋を中心とした経済圏の中にあり、新幹線駅とインターを近接して併せ持つ地の利を生かし、近隣地域の中心的な役割を担うまちづくりが求められています。現在、駅・インター周辺の都市基盤の整備を着実に推進するとともに、東西軸の道路整備、企業が立地できる条件整備を進めているところです。



開発が着実に進められているインターチェンジ周辺

インター北土地地区画整理事業を推進。加えて、本年1月には、駅北本郷地区での土地地区画整理事業約23haを立ち上げ、一部道路築造が始まったところです。区画整理事業による大規模な集約保留地は、公共的団体などへの売却も決定し、事業の推進力となっています。これらの事業により、駅周辺の面的整備が一通り完了します。

また、インターチェンジの南部地域は市街化調整区域となっており、これまでに各種の開発構想が持ち上がっては消えていきました。しかし、インター直近への大型商業施設の進出を契機に開発への機運も高まり、インター南部東地区の市街化調整区域約22haにおいて地区計画を立案し、企業の進出を誘導する手法で開発を促しているところ。4本の地区計画道路の整備や、条例により建築物の用途制限や開発面積の最低限度を定めることで、流通・配送業や最先端製造業などの企業が立地しやすい環境を整える、新しい開発手法として進めています。

もっと元気な羽島に向けて

現在、少子高齢化・人口減少が

社会問題化していますが、本市は恵まれた環境から人口がまだ少しずつ増えています。

しかし、全体として人口が増え続ける社会が続くのであれば、右肩上がりの財政収入を背景に、さまざまな事業に十分な予算配分ができますが、人口減少社会の到来は、これまでに以上に、より一層の効率的な行財政運営が求められます。

私は、厳しい財政環境の中であ

る今こそ、地に足の着いた事業の推進、将来を見据えた重点的かつ実な投資が必要であると考えています。

福祉・医療・教育・防災・環境など、市民が求める施策を着実に進め、誰もが望む生き方ができるように努めなければなりません。「自立」と「元気」をつかんできた羽島が、これからは安心して快適に暮らせる「もっと元気」な羽島になるよう、全力で取り組んでまいります。

プロフィール

- ◆ 面積 53・64km²
- ◆ 人口 6万9097人
- ◆ 世帯数 2万3858世帯

〔将来都市像〕ともにつくる、明日につながる 元気なまち・羽島

〔まちの特徴〕岐阜県南部の愛知県境に位置し、木曾川と長良川の2大川に囲まれた自然豊かなまち。東海道新幹線岐阜羽島駅と名神高速道路岐阜羽島インターチェンジを擁する交通拠点都市



羽島市長 白木義春



- 〔特産品〕レンコン、特産米はつしも、川魚料理、みそぎ団子、酒
- 〔観光〕竹鼻別院のフジ、円空仏、大賀ハス園、羽島温泉、佐吉大仏、美濃路街道、平方勢獅子
- 〔イベント〕美濃竹鼻まつり・ふじまつり、Hashimaつばき&桜まつり、大賀ハスまつり、濃尾大花火、美濃竹鼻なまなまつり、いちのえだ田園フラワーフェスタ、七夕まつり

※面積は国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」に、人口・世帯数は「住民基本台帳」による。

「くらしき力」を最大限に生かし、「世界に誇る倉敷市に！」

はじめに

倉敷市は、豊かな自然と温暖な気候に恵まれた瀬戸内海に面する人口約48万人の中核市です。大原美術館、白壁のまち並みなどの質の高い観光資源が豊富にあり、年間600万人以上が訪れるわが国有数の観光地です。また、世界に誇る産業集積地の水島コンビナートや、高度な医療機関、医療・福祉・芸術などを専門とする大学、繊維産業など、自然・歴史・文化・芸術・産業を備えた交流拠点都市として、たゆみない発展を続けています。

「くらしき力」でまちづくり

地方自治体として最も関心を寄せていることに、地方分権改革があります。政府も地域主権を掲げており、今後さらに地方分権社会

が進展していくものと期待しております。

これまで以上に自治体の自主性、自立性が求められる地方分権の議論では、国から地方自治体への権限や税財源の移譲に大きな焦点が当たっています。ですが、市民と地方自治体の関係の再構築、市民と行政による協働のまちづくりという「地域内分権」とも言うべき側面こそ、非常に重要であると認識しています。

これからの本市の発展のためには、恵まれた資源と優れた伝統文化などの潜在力と、市民の力を結集した「くらしき力」を最大限に発揮していくことが必要と考えています。そのためには、まちづくりの主体となる市民、企業、団体、行政などが、目標や目的をしっかりと共有することが重要です。そ

して、おのおのが責任の下、努力し、行動していくこと、さらにはお互いの対話を一層進め、連携の輪を広げていくことが非常に重要であります。

少子高齢社会、核家族社会においては、地域の安全・安心への関心が高まるとともに、地域の中で孤独な状況の方、また、育児不安を一人で抱えておられる方なども増えており、お互いに助け合っていくことが何より大切になると考えています。

さらに、地球温暖化対策においても、私たち一人一人の取り組みの積み重ねが大きな効果を上げ、地域や次の世代、地球を守ることにつながります。

私は、こうした基本的な考え方をもって、「子育てするなら倉敷で」といわれるまち」「安心して暮らせ

るまち」「個性と魅力を伸ばすまち」の3つのまちづくりの柱を掲げ、その実現に向け、全力で取り組んでいます。

まちづくりの三本柱

1つ目の「子育てするなら倉敷で」といわれるまちとは、倉敷の宝である子どもたちの未来のために、投資を行っていきけるまちの実現です。前年9月から妊婦健診について、国が安全な出産に必要であると示した14回の健診とその都度推奨されている検査項目を公費負担としました。また、子どもが健やかに育成できる環境整備へ向け、「こんにちは赤ちゃん事業」を本年10月1日から開始しています。さらに、地域住民の参加・協力により、放課後児童クラブへの小学校6年生までの受け入れを順次進めています。

2つ目の「安心して暮らせるまち」とは、市民の皆さまが未来に希望を持てる、安全・安心で持続可

にはぐくみ、地域間の連携を強化しつつ、広く世界へ発信していくまちの実現です。その一歩として、私自身が、東京銀座において、モモやマスカット、竹水の化粧品などを生産者の方々と一緒にPRする催しを実施しています。

行財政改革・対話重視・現場主義

以上、これらを実現していくにあたり、「行財政改革・対話重視・現場主義」は必要不可欠なことです。

「行財政改革」としては、事務事業評価に加え、選択と集中を行うため新たに施策評価を実施するとともに、公有財産の活用について、財産活用課の設置などを始めたところと、また、市民活動を活性化し、ネットワークづくりを促進する場として市民活動センターを開設しました。

「対話重視」という立場からは、市政について、市民から幅広く自由な意見をお聞きし、一緒に考える「市民ふれあいトーク事業」や「市民モニター事業」を開始するなど、市民のご意見を伺う多くの機会を創造しています。さらに、私自身が、直接現場において課題を把握し、



川船から見た倉敷美観地区



倉敷市長 伊東香織

【市町村合併】平成17年8月1日、船

産業を備えた交流拠点都市

【まちの特徴】風光明媚な瀬戸内の中核市で、年間600万人以上が訪れる観光都市 自然・歴史・文化・芸術・産業を備えた交流拠点都市

【将来都市像】倉敷市の持つ個性や魅力と、市民の皆さまの持つ力を合わせた「くらしき力」を最大限に生かした、明るさと希望あふれる「世界に誇る倉敷市に！」

- ◆ 面積 354.72km²
- ◆ 人口 47万9940人
- ◆ 世帯数 19万2279世帯

プロフィール



【特産品】ジーンズ(児島は国産ジーンズ発祥地)、イ草製品、モモ、マスカット、ゴボウ、レンコン、スイートピー、タケノコ

【観光】白壁のまち並み「美観地区」、大原美術館、瀬戸大橋、「日本の夕陽百選」鷺羽山の夕日、眠らない水島コンビナートの夜景、港町「玉島」

【イベント】瀬戸内倉敷ツーデーマーチ、倉敷音楽祭、ハートランド倉敷、せいり児島瀬戸大橋まつり(春・秋)

※面積は国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」に、人口・世帯数は「住民基本台帳」による。